

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

1.目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
子育て支援に関する取り組みの市民満足度	86.9%	88%	88.2%	88%	88%	88%	87%

2.主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) みよし市版「ネウボラ」の推進

昨年度実施結果	課題
母子支援事業を実施し、安心してこどもを産み育てることのできる環境の整備を進めた。 子育て応援アプリの導入及び伴走型相談支援により、妊産婦や子育て世帯の孤立感の予防を図りました。	核家族化や支援者の不在、家庭環境等から子育て世帯を取り巻く環境は複雑化している。令和7年度より拡大した産前産後支援事業を活用し、子育て世帯の孤立感・不安感軽減を継続する。

(2) 保育環境の整備

昨年度実施結果	課題
乳児枠の需要増に対応するため、幼児室の一部を乳児室にするなど乳児枠の定員増を図るとともに、城山保育園移転新築事業を着実に進めることで隠れ待機児童解消に向けた取組を実施しました。	子どもの数の減少に伴う3歳児から5歳児までの幼児数の減少と共働き世帯の増加に伴う0歳児から2歳児までの乳児枠の保育需要増に対して、施設の利用用途を効果的に変更する必要がある。

(3) 子育て支援センター事業の充実

昨年度実施結果	課題
親子ふれあいルーム等の開催により、育児情報の提供に加え、親子同士の出会いの場を提供した。また、父親の育児参加を促すため「お父さんと遊ぼう」など父親が参加しやすいイベントを開催した。	育児に関する悩み事等が多様化する中、子育て支援センターなど保護者に身近な機関において育児相談等を受けるに当たって、他機関との連携を強化した地域子育て相談機関の設置が求められている。

(4) 相談支援体制の充実

昨年度実施結果	課題
全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う「みよし市こども家庭センター」を設置した。	核家族化など家族形態の変化に伴い、困ったときに相談できる家族が少ない家庭が多くなってきている。保護者の不安や困りごとを解消するため、相談窓口を周知する。

(5) 幼児教育の充実

昨年度実施結果	課題
市内私立幼稚園に対して教育振興費を支給することで園の安定運営に寄与するとともに、市内在住児童に対して給食費無償化事業として給食費相当額を支給することで保護者の経済的負担を軽減した。	子どもの出生数の減少伴う幼児数の減少や共働き世帯の増加等に伴う保育需要の増加により、幼稚園の安定的運営を継続するための園児数確保が難しくなってきている。

(6) 児童発達支援体制の充実

昨年度実施結果	課題
心身の発達に支援が必要なこどもたちやその保護者に対して、親子通園ルーム「ふたば」や児童発達支援事業所「よつば」において支援を行いました。	発達上の支援を必要とするこどもの増加等に伴い、当該こどもやその家族への包括的な支援の充実を図る必要があるため、児童発達支援センターの設置・整備が求められている。

(7) 保育士確保策の充実

昨年度実施結果	課題
保育園の安定運営のため、新たな保育士人材の確保や離職者の復職促進等のため、公立・私立の共催による合同就職説明会を開催し、保育学生や復職希望者に園の説明や見学・給食体験を実施した。	各大学・専門学校において保育学生の減少が問題となっている。このため、高校生をはじめ小中学生にも保育体験を実施し、保育士を目指そうと思うこどもたちを増やす取組が求められている。

3.結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S: 蹤進中、A: 予定通り、B: 遅れ気味)	今後の方向性
A	子育て支援に関する取り組みの市民満足度がさらに高まるよう、各種の子育て支援策を着実に取り組んでいく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

4. 関連する事務事業の評価

関連する事務事業のR6決算総額:	3,288,548,588 円
関連する事務事業のR7予算総額:	4,715,379,000 円

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額									
こども計画推進事業	こども未来会議を開催し、こども計画及びこどもの権利条例を策定する。 また、こども会議を開催し、こどもの意見を聴取し、施策に反映させていく。		現状維持	計画の見直しや進捗状況の報告のため、こども未来会議の開催を継続する。 また、こども等から意見を聴取する機会としてこども会議を開催する。					
こども政策課				こども会議はこどもの意見表明の場であり、機会を増やす必要がある。					
R6決算額 10,830,463 円	施策内優先度	A							
R7予算額 547,000 円		R6 実績		R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績						
教育・保育への確保方策達成事業割合	%	100	100	100	100	100	100	100	

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額									
ひとり親家庭相談・自立支援事業	①母子父子自立支援員を配置し、ひとり親世帯の自立した生活に向けた支援プログラムを策定する。 ②母子(父子)家庭の母親(父親)が自立のための適職に就くのに必要な場合、教育訓練の受講のため自立支援教育訓練給付金支給事業、高等職業訓練促進費等支給事業を行う。		現状維持	ひとり親世帯の自立した生活を支援するため、現在の事業を継続する。					
こども政策課				多様な家庭状況に対応するため、定期的な事業対象の見直しが必要。					
R6決算額 2,200,820 円	施策内優先度	B							
R7予算額 5,365,000 円		R6 実績		R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績						
母子父子に係る給付金支給件数	件	3	5	6	6	6	6	6	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう			
取組分野	1	子育て支援			
施策主管部局	こども未来部				
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課		

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
遺児手当支給事務	みよし市に居住する18歳に達する年度末までの児童で、父母が婚姻を解消した児童、父または母が死亡した児童、父または母が規則で定める障がいの状態にある児童等である遺児を養育する者に、みよし市遺児手当を支給する。手当の額は、遺児1人につき月額2,500円とする。						現状維持	遺児の健全な育成のため、現在の事業を継続する。
こども政策課							なし	
R6決算額 14,825,470 円	施策内優先度		B	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
R7予算額 15,593,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
手当受給者数	人	352	356	352	352	352	352	352

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
児童扶養手当事務	児童扶養手当法に基づき、支給要件に該当する児童を監護する母、父又は養育者に児童扶養手当を支給する。受給者又は扶養義務者の所得に応じて一部支給停止または支給しない。 【手当額(月額)】第1子 45,500円～10,740円 第2子以降 10,750円～5,380円						現状維持	児童の福祉の増進のため、現在の事業を継続する。
こども政策課							なし	
R6決算額 130,322,083 円	施策内優先度		法	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
R7予算額 155,959,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
手当受給者数	人	249	236	244	244	244	244	244

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
児童手当支給事務	児童手当法に基づき、高校修了前の児童を養育する者に児童手当を支給する。 支給月額:3歳未満15,000円、3歳～高校修了前10,000円、第3子以降30,000円 ※第3子算定対象:大学生年代以下		現状維持	児童の健やかな成長のため、現在の事業を継続する。					
こども政策課				なし					
R6決算額 1,267,036,937 円	施策内優先度	法							
R7予算額 1,564,469,000 円		R6 実績		R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標		
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
児童手当受給者数	人	4,482	4,332	5,832	5,890	5,948	6,007	6,067	

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
児童発達支援事業	「よつば」定員20名で、療育の必要性が認められる3歳から就学前までの幼児一人ひとりに合わせた支援を行っている 「ふたば」保健センターとの連携により、発達に心配のある1歳から3歳までの就園前の乳幼児が親子通園し、心身の発達を促し、親子同士の交流を図っている		拡大	(1)「よつば」を明知保育園から市内中央部に移設する。 (2)市内保育園や幼稚園等に対しての地域の児童発達支援を拡大していく。 (3)児童発達支援センターの設立を行う。それに伴って専門職の雇用、委託方法について検討する。(言語聴覚士、看護師、作業療法士)					
保育課				「よつば」と「ふたば」を中央部へ配置し、保健センターとの連携を含めて児童発達支援センターの運営ができるようにする。					
R6決算額 13,873,782 円	施策内優先度	B		R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
R7予算額 14,803,000 円				R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
児童発達支援事業所「よつば」入所者数	人	18	21	18	20	20	20	20	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額									
保育園運営事業	保育園及び小規模保育事業所で園児の保育を実施する事業 ①市立の保育園6園(直営) ②私立の保育園4園(民間) ③小規模保育事業所2園(民間) 通常保育及び特別保育の提供 民間の保育園には管理運営を委託し、国の委託料に加え市独自の補助を上乗せして支給している。					現状維持	民間保育園に対して運営管理に関する委託費を、こども園や小規模保育園等に対しては施設型給付費を、認可外保育所に対しては利用料補助金を支給することで各園の安定的な運営を図るとともに、保育園の適切な定員設定等により待機児童の解消を図る。		
保育課							国の幼児教育・保育無償化により保護者負担の軽減がされた。 また、市独自の施策として保育料の大幅軽減策及び第二子以降無償化事業を実施するとともに、給食費の無償化事業により保護者負担の軽減策を実施した。		
R6決算額	施策内優先度		B	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
1,285,364,962 円									
R7予算額									
1,326,799,000 円									
成果指標 (指標名)	R4 (単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
保育園の待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)						
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組						
R7予算額									
保育園整備事業	保育園の老朽化に伴う修繕や、計画的な備品の買い替えを行い、安全で安心して過ごせる保育環境を整備する。					拡大	公共施設の整備方針確定後、みよし市保育園個別施設計画に基づき大規模改修工事を行っていく。 また、城山保育園の移転新築事業を進め、令和8年4月に開園する。		
保育課	空調機については、乳児室、保育室、事務室の老朽化した既設空調機を計画的に更新する。						みよし市保育園個別施設計画に基づき、園舎等の改修等に係る整備を実施していく。		
R6決算額	施策内優先度		B	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
98,752,647 円									
R7予算額									
1,045,384,000 円									
成果指標 (指標名)	R4 (単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
整備した保育園数	園	10	10	10	10	10	10	10	

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
子育て支援センター運営事業	相談業務、親子ふれあいルーム、育児相談、保育園開放事業等を実施。市内4箇所において支援センターを開設し、相談業務、親子ふれあいルーム、育児相談等を実施。また、子育て総合支援センター及びカリヨンハウス内に子育てふれあい広場の開設及び相談業務を実施。						現状維持	子育て総合支援センターの民間委託を実施し、人件費等の事業費削減に努めるとともに、民間ノウハウを生かした事業運営を行う。
保育課								
R6決算額 48,594,257 円								
R7予算額 53,238,000 円	施策内優先度	B	育児に関する悩み事等が多様化する中、子育て支援センターなど保護者に身近な機関において育児相談等を受けるに当たって求められている他機関との連携を強化した地域子育て相談機関を設置していく。					
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
親子ふれあいルームの延べ参加者数	人	2,970	2,676	2,810	2,951	3,099	3,254	3,417

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
幼稚園支援事業	幼稚園児の健全育成をはじめ、教育振興のための事業推進及び教諭の資質向上を目的とした事業を実施する。						現状維持	私立幼稚園及び私立幼稚園に就園することの保護者に対し、補助していく。
保育課								
R6決算額 256,909,780 円								
R7予算額 350,293,000 円	施策内優先度	B	引き続き私立幼稚園及び私立幼稚園に就園することの保護者に対し、補助していく。					
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
活性化した運営を実施している幼稚園数	園	6	6	4	4	4	4	4

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
こども・女性相談事業	令和6(2024)年度にこども家庭センターを設置し、児童福祉担当と母子保健担当が連携して妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う。	現状維持	児童福祉担当と母子保健担当が一体的に妊産婦・こども・子育て世帯へ相談支援を行い、早期から切れ目のない包括的で継続的な支援を実施する。	関係機関と連携を図り、相談窓口を周知するとともに、児童虐待の早期発見、未然防止に努める。				
こども相談課	また、女性からの相談を受け、助言や情報提供又は関係機関へ繋げることで問題解決を図る。							
R6決算額 16,850,853 円	施策内優先度	A	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
R7予算額 18,142,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
相談受理件数	件	332	317	337	337	337	337	337

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
妊産婦・乳児健康診査事業	母子健康手帳交付時に、妊婦・産婦健康診査受診票・乳児健康診査受診票及び妊婦・産婦歯科健康診査受診票を交付し、妊産婦・乳児の健康保持及び異常の早期発見・早期治療を図る。	現状維持	誰もが安心して妊娠・出産・子育てできる環境を整備するために、事業を継続して実施する。	他市町村の助成状況、愛知県医師会の要望に合わせていく。				
こども相談課								
R6決算額 61,689,292 円	施策内優先度	A	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
R7予算額 69,884,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
妊婦健康診査受診率	%	93.2	89.0	83.0	83.0	83.0	83.0	83.0

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
乳幼児健康診査事業	未就学児に健康診査を実施し、病気の早期発見・治療(療育)につなげる。児の発達育児の専門的な助言の場とし、医師・歯科医師・保健師・歯科衛生士・管理栄養士に加え、保育士・心理相談員を配置し実施する。健診の結果、要経過観察となつた児に対し、事後指導につなげる。						現状維持	3・4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診は事前に通知し予約制で月2回実施、、歯科健診は未就学児に対して月1回実施、乳幼児健診は各健診・相談における要観察児に対して予約制で月2回実施する。
こども相談課							適切な助言をするため、心理学的判定のできる専門職の常勤配置をした。	
R6決算額 14,226,757 円	施策内優先度		A	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
R7予算額 17,512,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
健診の要フォローアクション数	人	478	461	409	409	409	409	409

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
発達支援教室事業	幼児健診等事後教室(名称:のびのび教室)としてスタッフ(保健師・心理相談員・保育士等)が、児の発達や関わり方について保護者の相談に応じる。						現状維持	適正人数で教室運営と相談に応じることができるように環境を整える。
こども相談課							少人数又は個別で相談に応じる体制の整備を検討する。	
R6決算額 1,306,934 円	施策内優先度		A	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
R7予算額 2,002,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
母子健康相談件	件	764	1,212	1,331	1,331	1,331	1,331	1,331

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	1	安心してこどもを産み、誰もが豊かな心を育むまち				
取組方針	1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう				
取組分野	1	子育て支援				
施策主管部局	こども未来部					
担当課	こども政策課	保育課	こども相談課			

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
母子保健指導事業	パパママ教室,育児健康相談,すくすく教室、むし歯予防教室、わんぱく教室、こどもの料理教室、多胎交流支援事業,母乳育児相談,子育て自主グループ支援(依頼により),健康教育(保育園,小中学校等),母子訪問指導事業等を通し,子育て支援および母子保健指導事業を実施している。						拡大	令和7(2025)年度から産前産後ヘルパー派遣事業及び産後ドゥーラ利用助成金交付事業を実施し、産前産後の心身の状態が不安定な母親及び養育者の不安及び負担感の緩和を図る。
こども相談課							保健師、助産師、心理相談員等の専門職種の人材確保の方策を検討する。	
R6決算額	A							
9,508,195 円								
R7予算額	施策内優先度		R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
16,334,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
子育て支援事業の利用 者数	人	2,350	2,996	4,602	4,602	4,602	4,602	4,602

事務事業名 (担当課)	事業概要		事業の方向性(評価及び実施内容)					
R6決算額	施策内優先度		事業の見直し・改善の取組					
R7予算額								
不妊治療費助成金事業	市内に住所を有する夫婦に、不妊・不育治費の一部を助成する。不妊治療助成対象は、一般不妊治療費(保険診療分・保険診療外分)、生殖補助医療費(保険診療分・保険診療と併せて行った先進医療費分)とし、不育治療助成対象は、不育症検査及び不育症治療に係る診療費とする。						現状維持	次世代育成支援の一環として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額の医療費がかかる不妊治療に要する費用を助成するこの事業は公益性が高く今後も必要であるため、継続して実施する。
こども相談課								
R6決算額	A							
4,455,758 円								
R7予算額	施策内優先度		R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標	
9,480,000 円								
成果指標 (指標名)	(単位)	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 目標
負担が軽減された人数	人	56	68	45	60	60	60	60

